

期 中 の 評 価 個 表

整理番号	7
------	---

事業名	民有林補助治山事業 (復旧治山)	都道府県名	鳥取県
地区名	赤松 (あかまつ)	計画期間	平成24年度～令和7年度(14年間)
市町村名	大山町 (だいせんちょう)	実施主体	鳥取県
事業の概要・目的	<p>本地区は、鳥取県西部の大山の裾野に広がる丘陵台地であり、地質は、第四期更新世大山火山の噴出物である火山岩塊、火山礫及び火山灰を含む凝灰岩、凝灰角礫岩及びローム層から構成される。火山灰特有の見かけの粘着力が大きく、垂直に近い状態でも安定を保つ地質であることから、溪流の縦侵食により溪岸に続く山腹斜面は急崖を形成しており、溪流の横侵食及び風雨による表層侵食により、抜け落ちや小崩壊が発生している。山腹斜面の後背地は急崖上部遷急線に近接して赤松集落の人家が建ち並んでいる状況である。</p> <p>平成23年9月の台風第12号に伴う豪雨により、溪岸侵食及び山腹の表層崩壊が進行し、山腹では堆積層の露出が顕著となり、後背地の人家の石積みに破損等の影響が生じた。今後の豪雨等によりさらに溪岸侵食が進行し、下流への土砂流出や、崩壊の発生により後背地の人家へ影響を及ぼすおそれがあるため、溪間工（床固工、流路工）及び山腹工（法枠工、補強土壁工）により溪流の侵食及び山腹斜面の崩落を防止し、人家や道路等を保全することを目的として、平成24年度から復旧治山事業に着手した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な事業内容：溪間工（床固工3基、流路工230m） 山腹工（法枠工5,920m²、鉄筋挿入工267本、 プレキャストコンクリート板補強土壁工580m²） ・総事業費：995,655千円（税抜き：915,897千円） 		
①費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>本事業の費用対効果分析における主たる便益は災害防止便益であり、溪間工、山腹工の施工により、溪流の侵食及び山腹斜面の崩落の防止を図り、人家等の保全対象を山地災害から保全する効果を算定したものである。</p> <p>総 便 益 (B) 1,395,532千円 総 費 用 (C) 1,036,597千円 分析結果(B/C) 1.35</p>		
②森林・林業情勢、農山漁村の状況その他の社会経済情勢の変化	<p>本地区の周辺では、ヒノキ林を中心としたアカマツ林からの樹種転換造林地が多数存在しており利用期を迎えつつある中、山地災害からの復旧・予防により、地域林業の担い手である地区住民の生活基盤を保全することで、地域の森林・林業の成長産業化に寄与するものである。</p> <p>また、本地区は大山隠岐国立公園区域に隣接しており、森林を含む自然景観の保護・維持に強い関心が寄せられる立地となっており、事業効果の早期発現が求められている。</p> <p>なお、平成24年度の事業着手から、保全対象に特段の変化は生じていない。</p> <p>主な保全対象 人家22戸、道路400m（県道200m、町道200m）、農地1ha</p>		
③事業の進捗状況	<p>溪間工及び、山腹工のうち法枠工の一部、鉄筋挿入工が完了し、現在、法枠工の一部及びプレキャストコンクリート板補強土工の整備を進めており、令和4年度末時点の進捗率は70%となる見込みである。</p>		
④関連事業の整備状況	<p>関連事業なし。</p>		

<p>⑤地元（受益者、地方公共団体等）の意向</p>	<p>集落裏の山腹斜面の侵食・崩壊が進行していることに対して住民は大きな不安を感じており、事業の実施による斜面崩壊からの安全確保を図るため、事業の早期・確実な概成を強く要望します。</p> <p style="text-align: right;">（大山町、赤松地区）</p>
<p>⑥事業コスト縮減等の可能性</p>	<p>経済比較による工法選定、現地発生材の有効活用等を実施しており、今後も再生資材の活用等により、引き続きコスト縮減に努める。</p>
<p>⑦代替案の実現可能性</p>	<p>これまでの事業実施により、渓岸や山腹の安定化が図られ、住民の不安も払拭されつつあり、今後も引き続き事業を実施していくことが必要である。また、工法の経済比較や斜面安定解析等に基づいた効果的な事業計画としていることから、代替案はない。</p>
<p>評価結果及び事業の実施方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性：下流への土砂流出や、崩壊の発生による後背地の人家への被害の恐れがあったことから、地元からの対策の要望等を踏まえ、本事業を実施し、森林の有する山地保全機能を高度に発揮させることにより、山地災害を未然に防止し、国土の保全と民生の安定に資するため、事業の必要性は認められる。 ・ 効率性：対策工の計画に当たっては、工法の経済比較や斜面安定解析等に基づき現地に応じた最も効率的かつ効果的な工種・工法としており、また、現地発生材を有効利用する等により事業費を削減するなどのコスト縮減を図っていることから、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性：溪流の侵食及び山腹斜面の崩落の防止により、後背地の人家や道路等の保全が図られ、民生の安全・安心の確保が見込まれることから、事業の有効性が認められる。 ・ 事業の実施方針：本事業は必要性、効率性、有効性が認められ、また、地元からは早期・確実な概成の要望も強いことから、事業を継続することは妥当と判断される。

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：復旧治山事業
施行箇所：赤松(あかまつ)

都道府県名：鳥取県
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	23,856	
	流域貯水便益	3,347	
	水質浄化便益	12,201	
災害防止便益	山地災害防止便益	800,479	
	人命保護便益	555,649	
総 便 益 (B)		1,395,532	
総 費 用 (C)		1,036,597	
費用便益比	$B \div C = \frac{1,395,532}{1,036,597} = 1.35$		

評価箇所概要図

整理番号	7
------	---

鳥取県

事業名	民有林補助治山事業(復旧治山)	地区名	赤松(あかまつ)
-----	-----------------	-----	----------

